

# 令和5年度公立中学校における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和5年12月1日現在としてお答えください。

※本調査は、公立中学校、義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を対象とします。

※特別支援学校及び特別支援学級は対象外とします。

※分校がある場合は、本校と分校をまとめて1校とします。

## 1. 調査対象学校数

(単位：校)

学校数
9,165

## 2. 生徒の英語力に関すること

2-(1) 以下に該当する生徒数を記入してください。

※特別支援学級は含めません。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR A1レベル相当（英検3級など）以上」に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※「CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指します。

【判断方法の例】

- ・2技能または3技能を測る試験におけるスコアを踏まえて判断
- ・公式な記録としては認定されない試験のスコア
- ・CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果 等

	第3学年に所属している生徒数 (ア)	(ア)のうち、英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒数 (イ)	(イ)のうち、CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒数 (ウ)	(ア)のうち、CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数 [ (ウ) 以外 ] (エ)
人数	977,198 人	451,818 人	272,206 人	216,004 人

2-(2) 上記 (エ) について、A1レベル相当以上を有すると判断した根拠として、当てはまるものに○を付けてください。(複数選択可)

なお、上記 (ア) が0人の場合は、「欠学年」に○を付けてください。

(単位：校)

	回答
2技能または3技能を測る試験におけるスコアを踏まえて判断	5,724
公式な記録としては認定されない試験のスコア	2,952
CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果	3,636
その他	1,106
欠学年	130

### 3. 英語を使用する機会に関すること

#### 3-(1) 授業における、生徒の英語による言語活動の割合

第1学年について、1年間の授業を通して、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合(%)について当てはまるものを選択してください。欠学年の場合は、「欠学年」を選択してください。

※特別支援学級は含めません。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。

(学習指導要領解説 付録8参照)

【聞くことの例】日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。

【読むことの例】日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。

【話すこと [やり取り] の例】関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に回答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

【話すこと [発表] の例】関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。

【書くことの例】趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。

(単位：校)

授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	欠学年
1,475	5,408	2,075	165	42

#### 3-(2) 授業における、生徒の英語による言語活動の割合

第2学年について、1年間の授業を通して、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合(%)について当てはまるものを選択してください。欠学年の場合は、「欠学年」を選択してください。

※特別支援学級は含めません。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。

(学習指導要領解説 付録8参照)

【聞くことの例】日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。

【読むことの例】日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。

【話すこと [やり取り] の例】関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に回答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

【話すこと [発表] の例】関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。

【書くことの例】趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。

(単位：校)

授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	欠学年
1,422	5,397	2,127	168	51

#### 3-(3) 授業における、生徒の英語による言語活動の割合

第3学年について、1年間の授業を通して、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合(%)について当てはまるものを選択してください。欠学年の場合は、「欠学年」を選択してください。

※特別支援学級は含めません。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。

(学習指導要領解説 付録8参照)

【聞くことの例】日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。

【読むことの例】日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。

【話すこと [やり取り] の例】関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に回答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

【話すこと [発表] の例】関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。

【書くことの例】趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。

(単位：校)

授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	欠学年
1,484	5,381	2,093	178	29

### 3-(4) 言語活動の内訳

第1学年について、上記の項目を10としたとき、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」及び「書くこと」にかける時間の割合を0~10で回答してください。

(※「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」全体を10とした場合)

	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと〔やり取り〕」	「話すこと〔発表〕」	「書くこと」
割合	2.11	2.22	2.30	1.44	1.93

### 3-(5) 言語活動の内訳

第2学年について、上記の項目を10としたとき、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」及び「書くこと」にかける時間の割合を0~10で回答してください。

(※「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」全体を10とした場合)

	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと〔やり取り〕」	「話すこと〔発表〕」	「書くこと」
割合	2.01	2.30	2.22	1.45	2.03

### 3-(6) 言語活動の内訳

第3学年について、上記の項目を10としたとき、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」及び「書くこと」にかける時間の割合を0~10で回答してください。

(※「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」全体を10とした場合)

	「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと〔やり取り〕」	「話すこと〔発表〕」	「書くこと」
割合	1.95	2.40	2.08	1.42	2.14

3-(7)「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」及び「書くこと」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテストのパフォーマンステストの状況

第1学年について、パフォーマンステストを本年度実施した、あるいは本年度中に実施する計画がありますか。実施した場合、次の項目について実施回数を記入してください（実施予定を含みます）。実施しておらず本年度中の実施計画もない場合は、次の項目に0を記入してください。

※特別支援学級は含めません。

※実施回数とは、当該学年の生徒全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

※スピーキングテストは学習指導要領に基づく言語活動に沿った出題・評価とします（定期テストにおける出題も含みます）。

例えば、音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストには含めません。

また、あらかじめ決められた台詞を言い合う活動も含めません。

※ライティングテストは定期テストの出題も含みます。

ただし、学習指導要領に示す言語活動（「趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動」、

「簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動」、

「日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動」、

「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動」）

などに沿って各学年の学習段階を考慮した評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題や単なる下線部訳は含めません。

（単位：回）

	回数（予定含む）
スピーキングテスト合計	45,303
スピーキングテスト - スピーチ	15,114
スピーキングテスト - プレゼンテーション	10,107
スピーキングテスト - インタビュー （面接・対話等）	15,979
スピーキングテスト - ディスカッション	1,602
スピーキングテスト - ディベート	315
スピーキングテスト - その他	2,186
ライティングテスト（エッセイ等）	27,570

3-(8) 「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」及び「書くこと」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテストのパフォーマンステストの状況

第2学年について、パフォーマンステストを本年度実施した、あるいは本年度中に実施する計画がありますか。実施した場合、次の項目について実施回数を記入してください（実施予定を含みます）。実施しておらず本年度中の実施計画もない場合は、次の項目に0を記入してください。

※特別支援学級は含めません。

※実施回数とは、当該学年の生徒全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

※スピーキングテストは学習指導要領に基づく言語活動に沿った出題・評価とします（定期テストにおける出題も含みます）。

例えば、音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストには含めません。

また、あらかじめ決められた台詞を言い合う活動も含めません。

※ライティングテストは定期テストの出題も含みます。

ただし、学習指導要領に示す言語活動（「趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動」、

「簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動」、

「日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動」、

「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動」）

などに沿って各学年の学習段階を考慮した評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題や単なる下線部訳は含めません。

（単位：回）

	回数（予定含む）
スピーキングテスト合計	47,672
スピーキングテスト - スピーチ	14,004
スピーキングテスト - プレゼンテーション	12,111
スピーキングテスト - インタビュー （面接・対話等）	15,954
スピーキングテスト - ディスカッション	2,231
スピーキングテスト - ディベート	749
スピーキングテスト - その他	2,623
ライティングテスト（エッセイ等）	29,953

3-(9) 「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」及び「書くこと」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテストのパフォーマンステストの状況

第3学年について、パフォーマンステストを本年度実施した、あるいは本年度中に実施する計画がありますか。実施した場合、次の項目について実施回数を記入してください（実施予定を含みます）。実施しておらず本年度中の実施計画もない場合は、次の項目に0を記入してください。

※特別支援学級は含めません。

※実施回数とは、当該学年の生徒全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

※スピーキングテストは学習指導要領に基づく言語活動に沿った出題・評価とします（定期テストにおける出題も含みます）。

例えば、音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストには含めません。

また、あらかじめ決められた台詞を言い合う活動も含めません。

※ライティングテストは定期テストの出題も含みます。

ただし、学習指導要領に示す言語活動（「趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動」、

「簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動」、

「日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動」、

「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動」）

などに沿って各学年の学習段階を考慮した評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題や単なる下線部訳は含めません。

（単位：回）

	回数（予定含む）
スピーキングテスト合計	49,807
スピーキングテスト - スピーチ	13,593
スピーキングテスト - プレゼンテーション	11,757
スピーキングテスト - インタビュー （面接・対話等）	15,357
スピーキングテスト - ディスカッション	3,618
スピーキングテスト - ディベート	2,799
スピーキングテスト - その他	2,683
ライティングテスト（エッセイ等）	33,519

### 3-(10) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握のそれぞれについて、行っている場合は「はい」を、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

※「『CAN-DOリスト』形式による学習到達目標」とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を領域別に記述したものを指します。

※「公表している」とは、一覧表にした学習到達目標の生徒への配布、単元で使用するワークシートの形式での生徒への配布、「学校だより」での紹介、学校のホームページへの掲載等の方法で、生徒、保護者等と共有されている状態のことを指します。

■生徒と共有している例：

- ①年度当初の英語の授業（オリエンテーション）で、学習到達目標等を配付し、学期ごとやこの1年間で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。
- ②単元の第1時に単元の課題を設定し、この単元で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。
- ③単元で使用するワークシート形式で生徒に示す。
- ④生徒が到達状況を把握するために振り返り等で活用する。等

■保護者や地域の方と共有している例：

- ①「学校だより」で紹介する。
- ②学校のHPへ掲載する。等

※「達成状況を把握している」とは、一覧表やワークシートの形式で生徒に配布した「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標をもとに、学年末、学期末、単元内等で評価を行い、学習到達目標を達成しているかどうかを教師が把握していることを指します。

(単位：校)

	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している	学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している	学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している
実施の有無	8,806	6,562	7,398

#### 4. 英語担当教師の英語力・指導力に関すること

##### 4-(1) 英語担当教師の英語力の状況

調査基準日時点において中学校に所属する英語担当教師のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2レベル相当以上を取得している教師数を回答してください。

※「英語担当教師」とは、調査基準日時点において中学校に所属し、外国語（英語）の免許状（免許状の種類は問わない）を所有し、かつ英語の授業を担当している者です（ただし、臨時的任用の者及び非常勤講師は除く）。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR B2レベル相当（英検準1級など）以上」に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

（単位：人）

	英語担当教師数	英語担当教師のうち、CEFR B2レベル相当以上を取得している教師数
人数	29,183	13,081

##### 4-(2) 授業における英語担当教師の英語使用状況

第1学年、第2学年、第3学年のそれぞれについて、授業中における英語担当教師の英語による発話の状況として、当てはまるものに○を付けてください。

※特別支援学級は含めません。

※ここでの「英語担当教師」とは、調査基準日において英語の授業を担当している者とします（臨時的任用の者及び非常勤講師も含まれます）。

（単位：校）

	第1学年	第2学年	第3学年
発話の75%以上を英語で行っている	1,130	1,184	1,322
発話の50%以上75%未満を英語で行っている	5,065	5,090	4,937
発話の25%以上50%未満を英語で行っている	2,582	2,534	2,551
発話の25%未満を英語で行っている	344	305	326
欠学年	44	52	29

5. 外国語指導助手（ALT）等の授業への参画状況

5-(1) 外国語指導助手（ALT）等の人数

中学校で学校独自に授業への協力を得ているALT等の人数を回答してください。

※「学校独自に授業への協力を得ている」ALT等とは、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材で、「JETプログラム」「自治体が独自に直接任用しているALT」「派遣契約」「請負契約」「補習等のための指導員等派遣事業」に該当しない者を指します。

※各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられますが、本調査における「外国語指導助手（ALT）等」とは、英語の授業などで計画的・継続的に参画している者を指します。英語以外の外国語を担当する者は含めません。

※人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答してください。

※「中学校におけるALT等人数」とは、小学校、高等学校等と兼務している人数を含みます。同一ALT等が2校以上の中学校に参画している場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントします。

※日本人とは、第一言語を日本語とする者として。また、外国人とは、第一言語を日本語としない者として。

※該当するALT等がない項目は0と記入してください。

(単位：人)

	中学校における人数	うち、小学校とのみ兼務
JETプログラムによるALTの人数	2,730	1,893
自治体が独自に直接任用しているALTの人数	1,541	1,037
派遣契約によるALTの人数	3,012	1,337
請負契約によるALTの人数	204	101
上記の他、「補習等のための指導員等派遣事業」のうち、中学校における英語の授業で活用している人数	60	22
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている日本人のALT等	141	
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている外国人のALT等	352	
合計	8,040	4,390

5-(2) 英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況

英語の総授業時数（計画値）の中で、ALT等が参画する授業時数の割合（％）として当てはまるものを選択してください。

※「総合的な学習の時間」や「特別活動」において英語に触れる時間は含めません。

※1単位時間は50分として計算してください。計算した結果によって生じた小数点以下は、全て切り捨ててください。

※割合の算出に当たり、計算した結果によって生じた小数点以下は、全て切り捨ててください。

※学校全体の時数で記入してください。

(単位：校)

75～100%	50～74%	25～49%	1～24%	0%
861	1,338	3,719	3,176	71

5-(3) ALT等の授業への参画の具体的状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	75%以上の授業で行った(行う)	50%以上75%未満の授業で行った(行う)	25%以上50%未満の授業で行った(行う)	1%以上25%未満の授業で行った(行う)	実施していない
教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	4,614	2,660	1,276	502	42
パフォーマンステスト等の補助	3,183	2,060	1,917	1,683	251
生徒のやり取りの相手	4,546	2,749	1,301	466	32
発音のモデル・発音指導	5,588	1,916	975	540	75
生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	3,398	2,793	1,901	898	104

5-(4) ALT等の授業外での活動状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

	週1回以上行った(行う)	月1回以上行った(行う)	半年に1回以上行った(行う)	年1回以上行った(行う)	実施していない
英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流	1,594	1,801	2,194	1,103	2,473
一定の目的を持った授業外での教育活動(例：部活動、希望する生徒に対する個別指導、異文化理解のための学習)	1,018	1,576	2,154	1,402	3,015

6. 英語の授業におけるICT機器の活用状況（令和5年度）

6-(1) 以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：校）

	75%以上の授業 で実施した（す る）	50%以上75% 未満の授業で実 施した（する）	25%以上50% 未満の授業で実 施した（する）	1%以上25%未 満の授業で実施 した（する）	実施していない
生徒が学習者用デジタル教科書を 活用した授業	1,893	1,530	2,134	2,766	842
生徒がデジタル教材等（デジタルド リルや動画等のコンテンツ）を活用 した授業 ※学習者用デジタル教科書は含ま ない	1,268	1,555	2,481	2,889	972
生徒が1人1台端末を 活用した授業	2,562	2,257	2,604	1,690	52
生徒が1人1台端末・パソコン等を用 いて発表や話すことにおけるやり取 りをする活動	808	1,489	2,994	3,247	627
生徒による、発話や発音などの録 音・録画	369	916	2,267	4,032	1,581
生徒がキーボード入力等で書く活動	698	1,317	2,628	3,600	922
生徒が電子メールやSNS、チャット を用いたやり取りをする活動	49	120	400	1,351	7,245

6-(2) 以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：校）

	週1回以上行っ た（行う）	月1回以上行っ た（行う）	半年に1回以上 行った（行う）	年1回以上行っ た（行う）	実施していない
生徒が遠隔地の生徒等と英語で 話をして交流する活動	14	52	306	799	7,994
遠隔地の教師やALT等とチーム・ ティーチングを行う授業	27	59	171	418	8,490
生徒が遠隔地の英語に堪能な人と 個別に会話を行う活動	13	60	241	353	8,498

7. 英語教育に関する小中連携の実施状況（令和5年度）

7-(1) 英語教育に関する小中連携の実施状況

英語教育に関して、小学校と連携をしていますか。当てはまるものを選択してください。

（単位：校）

連携した（する）	連携しなかった（しない）
7,586	1,579

7-(2) 英語教育に関する小学校との連携の取組内容

連携の内容として当てはまるものに○を付けてください。（複数選択可）

（単位：校）

	回答
情報交換（互いの取組・実践を情報として交換する） 例：授業参観、年間指導計画の交換	6,851
交流（情報交換した内容について研究協議する。互いの学校で授業を行う。） 例：指導方法等についての検討会、授業参観後の研究協議、中学校教員による小学校での授業	4,810
小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定	2,531
その他	488